

# 新春のごあいさつ

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。新春をお健やかに迎えられることを、心よりお慶び申し上げます。



Cover Person ~表紙の紹介~



1月14日、堀内地区で「御柴灯」が行われました。わらなどと一緒に各家庭から持ち寄った古いお札やお守りなどを焚き上げ、今年1年の無病息災を祈願する伝統行事です。御柴灯は年末からこの時期にかけ、各地区で行われています。

## 広報ふながた 1

### もくじ ~Contents~

- P4 …… 4月から新たな公共交通へ
- P8 …… 町県民税・所得税申告がはじまります
- P9 …… 舟形町のうごき
- P10 …… まちのわだい
- P12 …… ふれあい広場
  - ・舟形町教育振興修学資金修学生を募集します
  - ・最上地区交通安全協会「優良運転者表彰」
- P14 …… 青いシグナル、ぽっぽ舎通信
- P15 …… 舟恋、カメラアングル、戸籍の窓
- P16 …… 第31回新春町民なわとび大会結果

町長に就任して2年を迎えようとしております。昨年は、4月に機構改革を実施し、町民視点での業務内容の明確化を図りつつ、さらには複雑化する業務や住民ニーズの高度化に耐えうる体制を目指し再編しました。教育面では、愛郷心を育む事業として、「日本一の給食食育事業」を始めました。給食調理の技術向上などはもちろん、子どもたちの給食を通して、食材提供者である町内の生産者も一緒に子どもたちを支えていくという取り組みで、舟形出身のプロの料理人の協力もいただきました。

また、舟形ほほえみ保育園の保育業務を舟形町社会福祉協議会に委託し、臨時職員の保育士を職員として採用して、保育業務の環境改善を図りました。さらに、保育の質の充実に向け、羽陽学園短期大学と連携協定を締結し、更なる子育て環境の充実を目指してまいります。

そして、西ノ前遺跡公園「女神の郷」も開園しました。新たな憩いの場としてだけでなく、町の誇りである「縄文の女神」を再認識してもらえればと考えております。今後も機会を捉え、国宝「縄文の女神」を舟形町に帰らせてあげるため、縄文文化を地域に伝え、世界へ発信してまいります。

そのほか、賑わい創出のための舟形町観光物産センターのリニューアルオープンや、舟形若あゆ温泉の入浴者数が35万人を突破するなど、多くのことがあった平成29年でしたが、舟形町は、町民の皆様と共に一歩着実な歩みを刻むことができたのではないかと考えております。

町職員には、年頭のごあいさつで「自ら考え行動する職員になってほしい」と伝えました。業務担当としてプロ意識を持って、町民サービスに努めるよう話したところで、今後ますます厳しくなる町政運営において、「住んでいる人が誇れるまち、豊かなふながた」を目指し、新たな年は、①生涯を通じて健康づくりの推進、②米政策30年問題に伴う農業支援施策の充実、③子ども(子育て)教育の充実、④情報発信力の強化、⑤町の将来を担う人材の育成、といった5つの視点を重視し事業を展開していきます。本年が、舟形町と皆様お一人おひとりにとって良い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

舟形町長 森 富 広